

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. BKA1 V5 900

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation
株式会社オートエクス
〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクス ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輛に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

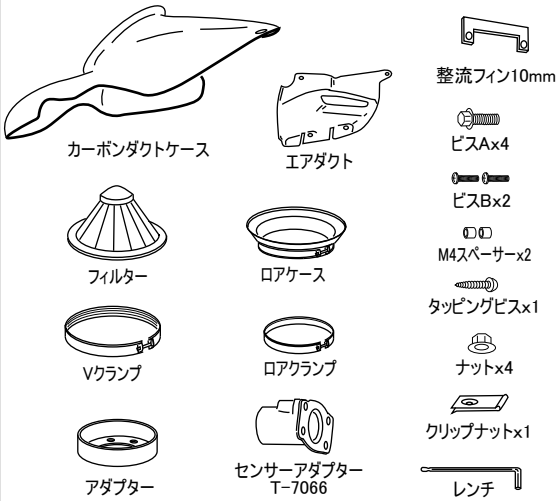
適合車種: マツダスピードアクセラ(BK3P)

警告

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験をしている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダが発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

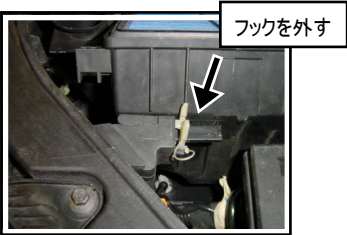
- フィルタークリーニングの際は、カーボンダクトケース部のみを取り外し、フレッシュエアダクトを取り外す必要はありません。

PARTS LIST



ダクトケースにフィルター、Vクランプ、ロアケース、ロアクランプ、アダプターが組み込まれて梱包されています。

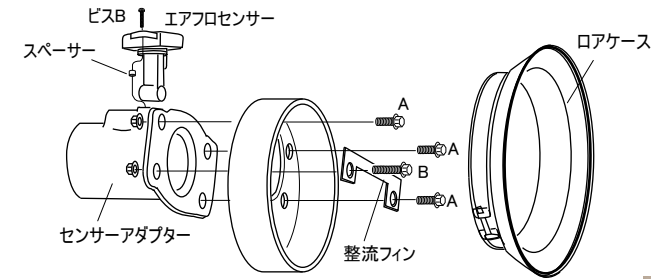
ノーマルクリーナーの取り外し



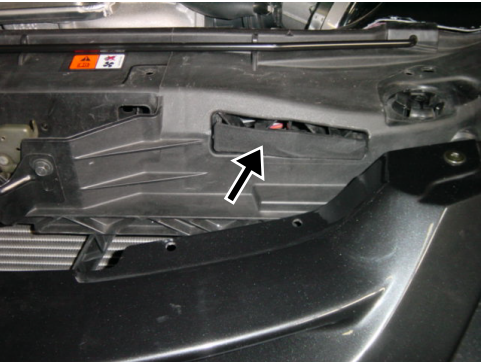
- 1: エアフロセンサーハーネスカブラーを取り外します。
ノーマルエアクリーナーボックスの上蓋をエアフロセンサーごと一度取り外します。
- 2: エアクリーナーボックス下側の横に付いているフックを外し、ノーマルエアクリーナーボックスを全て外します。(上写真参照)
- 3: エアクリーナーボックスからエアフロセンサーを取り外します。

ラムエアインテークシステムの取付け

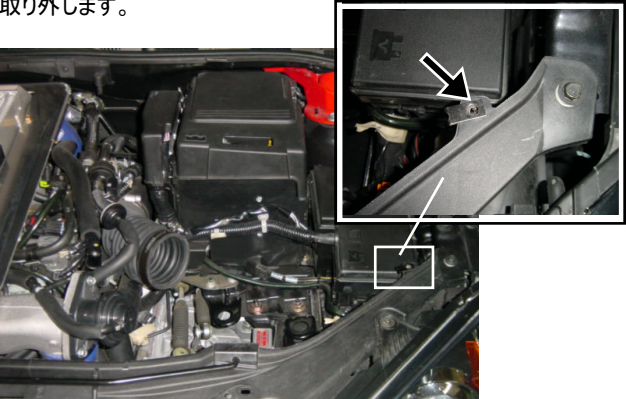
注) ボルト及びナットは緩み防止のため、必ずネジロック剤等を塗付して取付けてください。



1: 付属パーツを左図のように組み立てます。



2: 導入部のカバーをマイナスドライバーなどで、引き出して取り外します。



4: 付属のクリップナットをラジエーターコアサポートの矢印部(上写真)に取り付けます。(カーボンダクトケースの固定位置になります)



6: フィルターとアダプターASSYを配置し、Vクランプで組み付けます。同時にサクションホースに取り付けます。センサーアダプターは少し緩めですがそのままバンドで締付けてください。



3: 付属のエアダクトを取り付けます。(ノーマルのファスナーで取り付け)



5: カーボンダクトケースをエンジンルーム内に配置します。



7: タッピングビス固定部の溝ゴムを手でめくり、フィルターケースを付属タッピングビスで矢印部に取り付けます。締め付け後、溝ゴムをビスの上に被せるようにして仕上げてください。